

熊毛の社会教育

令和五年二月発行
熊毛地区社会教育振興会

熊毛地区社会教育振興会では、地域・家庭・学校・行政・関係機関等の連携が更に深まり、熊毛地区の社会教育がますます充実・発展することを願って、リーフレット「熊毛の社会教育」を作成しています。ぜひ御一読いただき、本地区の社会教育の更なる充実・発展に御理解と御協力をお願いします。

一・二ページには、地区主要行事が、三・六ページには、一市三町の特色ある事業等が掲載してあります。

<熊毛地区社会教育主要事業実績>

月	日	曜	事業名	会場	出席者数
5	21	土	地区子ども会安全教育研修会 地区子ども会指導者・育成者研修会	中種子町立中央公民館	21人 18人
6	25	土	地区人権教育ブロック別指導者研修会 地区社会教育指導者研修会（青年団体）～26日	屋久島町総合センター 屋久島環境文化研修センター	80人 23人
7	11	月	地区文化財保護審議会委員等研修会	屋久島町総合センター	20人
8	10	水	地区子ども会大会・創作活動大会	各家庭	20人
10	21	金	地区社会教育指導者研修会（PTA・女性団体・高齢者団体）、地区社会教育委員等研修会及び自治公民館経営研究会	中種子町立中央公民館	51人
11	26	土	地区子ども会ジュニア・リーダー養成研修	南種子町立中央公民館	20人
12	3	土	県PTA活動研究委嘱公開	南種子町立南種子中学校	113人

子ども会安全教育研修会 子ども会指導者・育成者研修会

令和四年五月二十一日（土）

種子島会場：中種子町立中央公民館三十九人
（屋久島会場：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
安全教室では、DVDを観て、正しい応急処置
について学びました。その後、子ども会会員と指
導者・育成者に分かれ、それぞれ「KYT（危険
予知トレーニング）」と「指導者・育成者の役割」
について講義を受けました。最後に、全員でレク
リエーションを行い、参加者同士が交流を深めな
がら、安全について詳しく学ぶことができました。



【KYT（危険予知トレーニング）】
講師：南種子町社会教育士 小川 和輝 氏



【レクリエーション】
講師：中種子より一いきスポーツクラブ
クラブマネージャー 宇都 光樹 氏

人権教育ブロック別指導者研修会 社会教育指導者研修会（青年団体）

令和四年六月二十五日（土）

人権教育研修会場：屋久島町総合センター（八十人）
青年団体研修会場：屋久島環境文化研修センター（二十三人）
地区内の社会教育指導者が屋久島町において
一堂に会し、二つの研修会を行いました。人権
教育ブロック別指導者研修会では、県男女共同
参画局人権同和対策課の宇都節郎氏に「誰もが
幸せに生きるために」をテーマに講演をしてい

ただき、部落差別（同和問題）や性的指向・性
自認等について理解を深めました。青年団体の
研修会は、三年ぶりに一泊二日の日程で開催す
ることができました。屋久杉自然館見学、SD
Gsトークを含むアイスブレイク、各青年団の
活動報告、グループ討議等を行い、充実した研
修となりました。

文化財保護審議会委員等研修会

令和四年七月十一日（月）

屋久島町総合センター（二十人）
県教育庁文化財課の切通雅子文化財主事兼係長
に指導講話をしていただき、県文化財保存活用大
綱に基づく各種取組について研修を深めました。
研究協議では、中種子町文化財保護審議会委員の
深田和幸氏が、「戦跡『九州海軍航空隊種子島基地』
跡の保存活動について」と題し、事例発表をして
くださいました。発表を受け、各市町の取組の成
果や課題等に関する活発な意見交換がなされまし
た。最後に、三年ぶりとなる現地視察に全員で出
掛け、屋久島町文化財保護審議会委員の市川聡氏
に横峯縄文遺跡を案内していただきました。復元さ
れた竪穴住居



【講演「誰もが幸せに生きるために」】



【グループ討議後の発表】

- ・ 差別の対義語は尊敬・尊重だ
という話が心に残った。
- ・ 人権について繰り返し学びた
い。
- ・ 他の青年団と集まることがで
き、人とのつながりの大切さを
感じる有意義な研修になった。



【研究協議】



【横峯縄文遺跡見学】

子ども会大会・創作活動大会

八月十日に開催を予定していた子ども会大会・創作活動大会は、新型コロナウイルス感染症が拡大状況にあつたため、予定を変更して、各家庭で個別活動を行いました。危険予知トレーニングや写真フレームのかざりつけに家族で楽しく取り組めたようです。



- ・貝殻やシークラスを上手に組み合わせ、楽しくつくることができました。
- ・海で泳ぐときは、危険予知トレーニングで確認したことを守り、けがをしないようにしたい。

社会教育指導者研修会（PTA・女性団体・高齢者団体）
社会教育委員等研修会及び自治公民館経営研究会

令和四年十月二十一日（金）
中種子町立中央公民館（五十一人）
地区内の社会教育指導者、社会教育委員及び公民館長等が中種子町に集い、社会教育・人づくりやまちづくりの振興を目的として研修を行いました。

全体会では、鹿児島市地域づくり推進課の小路由美子氏に、地域学校協働活動の内容や推進の在り方等について、地区内の取組事例を基に講演をしていただきました。「地域学校協働活動と聞くと難しく感じられるかもしれませんが、今皆さんがされていることを、楽しみながらそのまま続けてください」という力強いお言葉をいただきました。

分科会では、出席者の中から司会者と記録者を決め、地域学校協働活動の実践例を紹介したり、各団体の運営に関する課題等について話し合ったりしました。「久しぶりにみんなで集ま

ることができ、貴重な情報交換の場になった」という出席者の声が多く聞かれました。

子ども会ジュニア・リーダー養成研修

令和四年十一月二十六日（土）
南種子町立中央公民館（二十人）

地区内の子ども会ジュニア・リーダーが南種子町に集い、交流を深めました。

初対面の参加者が多かったですが、レクリエーションや「KYTの実際」の研修を通して、互いのことを知ったり、意見を話し合ったりすることができ、緊張が解けたようでした。活動発表では、パワーポイント等を用いて各市町の活動内容や課題等を発表し合い、「他団体のよい取組を自分たちの活動に取り入れたい」と、今後の活動への思いを強くしていました。最後に、「創るということ」という演題で、UDCK（柏の葉アーバンデザインセンター）の小山田裕彦氏に講演をしていただきました。ものづくりに対する考え方や姿勢について学んだり、それぞれの将来について考えたりする時間になりました。



【講演「地域学校協働活動と人づくり・まちづくり」】



【分科会】



【「KYTの実際」発表の様子】

本研修をきっかけに、各団体間の連携が更に深まり、参加者の皆さんが、リーダーとして今後一層活躍されることを期待しています。

県PTA活動研究委嘱公開

令和四年十二月三日（土）
南種子町立南種子中学校（百十三人）
南種子中学校PTAは、「生徒の未来を拓く、持続可能なPTA活動」を研究主題に、実践を積み重ね、研究発表を行いました。また、早稲田大学文学芸術院の久保田治助准教授に「これからのPTA活動の在り方」について講演をしていただきました。
今後、学校・家庭・地域が一体となり、持続可能なPTA活動が展開されることを期待します。



【アトラクション】

受賞おめでとうございます

令和四年度各種表彰

◆社会教育功労者表彰

泊 秋敏

※敬称略
（屋久島町）

◆九州ブロックPTA協議会表彰

屋久島町立宮浦小学校PTA（屋久島町）

◆九州地区子ども会育成連絡協議会表彰

徳永 眞一（中種子町）

◆県読書推進運動協議会優良読書グループ表彰

おはなしのとびらとん（西之表市）

◆県子ども会育成連絡協議会表彰

中種子町も会育成会（西之表市）

◆南界校区子ども会育成会

平野集落公民館青少年育成部（南種子町）

◆熊毛地区子ども会育成連絡協議会表彰

上妻 初生（西之表市）

◆下中地区公民館青少年育成部

旭町子ども会（南種子町）

◆熊毛地区社会教育関係優良団体及び個人表彰

おはなしのとびらとん（西之表市）

油久小学校PTA「油っ久り」（中種子町）

広田遺跡語り部の会（南種子町）

編集・発行

熊毛地区社会教育振興会事務局

住所 西之表市西之表七五九〇番地

熊毛教育事務所内

電話 FAX (0997) 2210535 (0997) 2210521

西之表市

まなびの輪
にしのおもて

「波濤を超え、全国どこでもたくましく生き抜くことのできる力を備えた人間育成」、「郷土振興に情熱を燃やし、郷土興しの原動力たり得る人間育成」をスローガンとし、「ひとりだちの教育」を本市教育の基本理念としています。

ふるさとまなび隊

「ふるさとまなび隊」は市内の小学三年生から小学六年生を対象とし、様々な体験学習を通して、ふるさとの自然や文化などを学び、また異年齢で交流することで豊かな人間関係や規範意識、社会性を養うことを目的としています。

令和四年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、屋外での活動を基本とし、定員数の縮小や活動時間を短縮した形での活動となりました。

しおさい留学生との交流会

今年度もしおさい留学生との交流会を行いました。午前中は、仲を深めるために、グループ作りやフライングディスクなどを行いました。午後からは、文化財協力のものと、「文化財でビンゴ」と題し、クイズをしながら、西之表市の文化財を巡りました。参加した子供たちからは、「普段住んでいても、知らないことが多い」という感想も聞かれ、交流を深めながらも新しい学びのある有意義な一日となりました。



文化財でビンゴ

充実した図書館活動

トシヨフェスの開催

西之表市では、図書館活動を充実させることで、市民の皆さまの読書意欲が向上することを目指しています。県ボランティアグループの鳥羽啓子氏と本市在住の齋藤真理子氏を講師に迎え、鳥羽先生には読み聞かせについての講義と実演を、齋藤先生には実際に手製本を作る実技講演をしていただきました。

今までと違った新たな読み聞かせの仕方を学んだり、普段自分一人では作らない手製本を作ったりすることができました。



鳥羽先生による読み聞かせ講座

参加された方々は、とても満足げな表情で

ブックコンシェルジュ養成講座

本市の小学校高学年の児童と中学校の生徒、本市学校司書を対象にブックコンシェルジュ養成講座を開催しました。これは、図書館業務の体験をはじめ、豆本製作による本の仕組みの習得や、読み聞かせの実践等を行うことで、学校図書における、読書活動の推進を目的として、令和三年度から開設している講座です。四年度は、小学生五人、中学生一人、学校司書三人の計九人が参加し、講座終了後、ブックコンシェルジュとして認定されました。参加者からは、「今回習ったことを活かして、家族にも読み聞かせをしてみたい」や「将来学校司書になりたい」などの感想がありました。今後も多くの方が本に触れる機会が増えるように継続して開催していきたいです。



窓口業務を体験

生涯学習の取組

映画上映会の開催

十一月三日に市民会館ホールにおいて、映画「SINGネクスツステージ」を三回上映し、計七百九十一人の方が鑑賞しました。これは、映画館の無い

島内で映画上映をすることで、少しでも文化芸術に興味を持ち、親しんでもらうことを目的として開催したものです。幼児から大人まで、多くの方に楽しんでいただくことができました。

成年教育啓発事業

種子島高校へ「まなび隊」出前講座

成年年齢が十八歳に引き下げられたことに伴い、五月二十六日に種子島高校三年生を対象として、「十八歳からオトナ！講座」を開催しました。まず、選挙管理委員会や消費生活センターから選挙や契約のことなどについて説明をしていただきました。その後、社会教育課職員がキャッチセールスの寸劇を取り入れ、悪徳商法への注意喚起を行いました。

講座後のアンケートでは、「一つ一つの行動に責任が出てくる」など、不安の声が多くあがった一方で、成年になってやってみたいこととして、「クレジットカードを作ってみたい」、「選挙に行きたい」、「大人として積極的に自分の意見を発信していきたい」という声もありました。



社会教育課職員による寸劇

中種子町



風立のまち
なかたね

チャレンジ・キッズ
「歴史を学ぼう！」



チャレンジ・キッズ「歴史を学ぼう！」

中種子チャレンジ・キッズは年間を通して体験活動を行っています。十月二十九日に古市家住宅において、第四回目「歴史を学ぼう！」と題し、火起こし体験を実施しました。目的は、火起こし体験を通じて「火」を古代の人々はどうのようにして起こしていたのか等の古代の知恵を自ら考え、古代の生活の様相や現代の生活の豊かさを学ぶことです。実際に、古代の人々が使用されていた道具を使い、火起こしを行いました。火をつけるまでの作業に、子供たちは、「腕が痛い！」と叫びながら頑張っていました。「火」を起すことの難しさを学び、今の生活は本当に便利だと改めて気付かされる貴重な体験をすることができました。

公民館講座×図書室



あたまイキイキ音読教室

町民の生涯学習の場として今年度は公民館講座を十二講座開講し、そのうちの一つに公民館図書室とのコラボレーションで「あたまイキイキ音読教室」を開講しています。音読は認知症予防や脳機能を発達させる効果があることから、ことわざ、落語、古典、論語、絵本、種子島の昔話などを声に出して読みながら、参加者と一緒に楽しんでいます。特別な技術は必要なく、誰でも楽しめるので、参加者からは「絵本が楽しい」「月に一度の講座の時間が待ち遠しい」という感想がありました。また、参加者同士の交流の場としての役割も果たしているようです。

立切・横峯遺跡国史跡指定
記念シンポジウム



立切・横峯遺跡国指定シンポジウム

十一月十日の官報公告にて、国史跡となった立切遺跡（中種子町坂井）と横峯遺跡（南種子町島間）の指定を記念して、十二月十一日に、南種子町と共同の国史跡指定記念シンポジウムが種子島こりーなで開催されました。シンポジウムの第一部では、岡山大学名誉教授の稲田孝司さん、東京大学大学院准教授の森先一貴さんを講師に招いて、世界・日本からみた遺跡の重要性や可能性などについての講演がありました。第二部では、株式会社宙の駅代表取締役の本田静さんが、地域における遺跡の活用について講演を行いました。その後、二人の講師と、中種子町と南種子町の町長を交え、「遺跡の活用と課題」をテーマにしたパネルディスカッションと意見交換が行われました。

家庭教育学級合同研修会
「誰もが幸せに生きるために」



家庭教育学級合同研修会

このシンポジウムの様子は中種子町ホームページから御覧ください。また、同日に開催された立切遺跡・横峯遺跡フォトコンテストでは、「立切賞」・「種子島Fの会賞」の表彰式も行われました。なお、応募作品は資料館に展示していますので、御観覧ください。

十二月一日に中種子町立中央公民館大ホールにおいて、町家庭教育学級合同研修会を開催し、七十六人が出席しました。鹿児島県男女共同参画局人権同和対策課人権研修推進員常深透氏を講師に迎え、「誰もが幸せに生きるために」人の心に思いを馳せて」の演題で人権同和問題について講演を行いました。歌を交えながら子供の人権について語られ、「私たちは全員が地上の星」をテーマに、自分らしさとは何か、子供に人権を分かりやすく伝えるためにはどのような方法があるかなどについて考える機会となりました。

南種子町

心ふれあつまちづくり 南種子町

下中地区公民館青少年育成部
交流と学びの南種子探求ロゲイニング

十一月五日(土)に下中地区において、鹿児島大学の学生と下中地区の子供たちがロゲイニングや郷土カルタ大会などを通じて交流しました。ロゲイニングは、地区内の消火栓や避難所の看板など、防災に関連した箇所をチェックポイントにした防災ロゲイニングとし、チェックポイントでは「何のためにあるのか」皆で意見を出し合い、防災について学習しました。

本事業は、県離島振興協議会が企画した離島振興事業「アイランドキャンパス」を鹿児島大学が実施するもので、大学生と児童が諸活動を通じて交流し、その様子をSNS等で広く情報発信することで、地元との観光振興に寄与することを目的として行われています。



下中郷土カルタ大会の様子

ジュニア・リーダークラブ「コスモス」
3年ぶりに本格的な活動再開

南種子町ジュニア・リーダークラブ「コスモス」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるイベントの中止等により、二年間活動を自粛していました。今年度は、各種イベントや研修会が開催され、イベント運営ボランティアやマイバック推進運動など、本格的に活動を再開しました。

十一月二十日(日)には、文化庁事業の子供たちのためのお祭り広場「再発見ニッポンの伝統in南種子島」が南種子島こりーなで開催され、受付や会場案内などの運営に参加しました。空き時間には、書道や茶道などの和文体験をしたり、ステージショーを鑑賞したりすることもでき、日頃体験することができない貴重な経験を積むことができました。



茶道体験の様子

十一月二十六日(土)には、熊毛地区子ども会ジュニア・リーダー養成研修が南種子町で開催され、地区内のジュニア・リーダーが二年ぶりに顔を合わせて交流することができました。レクリエーションや各クラブの活動や課題の発表などを通して、地域における高校生世代の役割を考え、より一層活躍するリーダーとしての資質向上に努めました。

今後も「楽しみながら活動する！」をモットーに、様々な活動に積極的に取り組んでいきます。



ジュニア・リーダー養成研修の様子

ヒロウィン・ナイトミュージアム
博物館の夜間開放

広田遺跡ミュージアムでは、博物館の多様な魅力を体感していただくよう、毎年ナイトミュージアムを開催しています。今年も、ヒロウィンにちなんで十月三十日(土)に行いました。このイベントは、ヒロウィン風に飾りつけられたミュージアム館内に隠されたヒントを探してクロスワードパズル形式のクイズラリーを解き、広田遺跡

のナゾを学ぶことを中心とするものです。他にも、貝などが飾られた石に絵を描く体験ワークショップや、南の貝の道をイメージしたミニ・コンサート、本格的なヒロウィン風撮影ができるフォトブースなどのコーナーが設けられ、参加者は、趣向を凝らした仮装姿で、夜の博物館を楽しみました。

ヒロウィン・ナイトミュージアムは、広田遺跡語り部の会の皆さんと共同で行っております。広田遺跡ミュージアムでは、地域の団体と社会教育施設が連携することで、体験し、楽しみながらの深い学びの実現を目指しています。



ヒロウィン風の仮装の様子



体験ワークショップ

屋久島町

生き生き キラキラ 元気あふれる 屋久島町



町のためにできることを
高校生クラブ「ぼんだま」の活動

「わたくしたちは、ふるさと屋久島を愛し、豊かな町づくりのために奉仕します。」

これは、高校生クラブ「ぼんだま」会員綱領の一文です。今年度は、屋久島高校一・二年生の四十八人が所属しています。この綱領に掲げられているとおり、会員の高校生は、町のためにできることを考え、様々な活動に取り組んでいます。今年度の取組をいくつか紹介します。

やくしまっ子 わんぱくフェスタ

六月十八日、「ぼんだま」が企画から運営まで行うイベント「わんぱくフェスタ」を、宮之浦体育館で開催し、児童約五十人が参加しました。

生徒たちが手作りした魚釣りゲーム、ペットボトルボウリングなど数多くのゲームを用意して子供たちを楽しませていました。高校生のお兄さんやお姉さんにも連れられ、順番に楽しむ子供たちの明るい声と笑顔が会場に溢れていました。



【魚釣りゲームを楽しむ子供たち】

ウォーキング・ランニング看板設置

八月二十六日、健康の森公園の遊歩道に看板（距離表示板）を設置しました。この看板は、利用者にとって分かりやすく、元気が出るものとなるよう、生徒たち自身でデザインから作製・設置まで行ったものです。

利用者に笑顔を届けるとともに、少しでも運動する人が増えて健康増進に役立つようにと期待しています。



【デザイン案の発表】



【看板の設置】

口永良部島での交流会

十月十五日、口永良部島子ども会と松峯子ども会が口永良部島で交流会を開催しました。

屋久島からは、松峯子ども会の七人が参加しました。対面式の後、金岳小中学校で、ニュースポーツやレクリエーションなどで交流を深めました。夕方には、福祉館に移動し、全員でバーベキューや花火などを楽しみました。

参加した子供は、「はじめて口永良部島を訪れた。口永良部島の人たちはみんなとても優しく、すぐに友達になって仲良く遊べて楽しかった。また行つてみたい」と話しました。



【お別れの乗船前に記念撮影】

芸術の秋、文化の秋

町文化祭三年ぶりに開催

第十回屋久島町文化祭が十一月二十六日、二十七日の二日間、離島開発総合センターにおいて、三年ぶりに開催されました。個人やサークル、各学校が日頃から行っている芸術文化活動の成果を、展示・発表しました。

舞台発表では、和太鼓や弾き語り、舞踊、ダンスなどが披露されました。展示では、日々作製した絵画や書道、生花などのほか、会場で茶道教室の一点前実演も披露されました。

また玄関ロビーでは、屋久島高校書道部による「書道パフォーマンス」が行われ、来場者を魅了しました。町民の皆さんに元気を届けたいとの思いを込めて作品を仕上げました。



【和太鼓の演奏】

三年ぶりの再会
菊陽町地域女性の会との交流

十一月一日、二日の二日間、屋久島町女性団体連絡協議会の会員が、熊本県菊陽町を訪れ、菊陽町地域女性の会と三年ぶりに交流会、研修会を行いました。

菊陽町と屋久島町は、旧屋久町時代の平成六年五月に姉妹盟約を結び、行政、産業、教育、文化などあらゆる面で交流を深めてきました。平成十九年十月に屋久島町の誕生を受け、平成二十年二月二十九日に新たに姉妹盟約を締結しました。

「屋久島町のみなさん、お帰りなさい。」という菊陽町地域女性の会会長の温かい歓迎の言葉から研修会は始まり、久しぶりの再会を喜び合いました。互いの活動の情報交換や現地視察など、充実した研修会となりました。



【書道パフォーマンス】



【情報交換会の様子】